

丹野セツ セツの 労働運動家。明治二十五年十一月二日福島縣小名濱町
 生れ、昭和六十二年五月二十九日歿（一九二一―八七）。變名坂上キヨ子、山
 下はる、渡邊テヲ、渡邊甘津等。大正六年小學校卒業後見習看護婦と
 なる。八年茨城縣看護婦試験に合格、また日ソの友愛會支部發會式に
 参加。十年上京、翌年徳民會、赤瀾會に加入するほど労働運動に従事。
 十三年渡邊政之輔（うち日本共産黨中央委員）と結婚すると、賣家の
 籍を抜けず丹野姓の儘過す。十五年非法日本共産黨入黨、翌年關東
 婦人同盟結成。昭和二年二・一五事件（共産黨員大檢挙）に潜伏中、指
 導、獄中夫が臺灣に官憲に遭えられたことを知る。翌年病氣のため執行
 停止となり、この間夫の遺稿『左翼労働組合の組織と政策』（昭和五
 年十月）二十日希望閣（キ藤原久と編輯、序文執筆。十二年満期出獄、
 爾後看護婦、保健婦として過し、三十一年東京葛飾の四ツ木診療所を
 開設。うち黨と縁をせられる。

山代巴・牧瀬菊枝編『丹野セツ―革命運動に生きる』（第五刷・昭和
 四十八年三月十日釣草書房）がある。

